



電車バスとコンパクトシティ 牛窓・犬島応援隊を結成するぞ

■西大寺からの犬島アクセスの宝伝線(東備バス、両備バスの子会社)が廃止の危機。2010年の瀬戸芸開始時、岡山駅から犬島への直行便が登場したが、今も走る休日直行便の前提は、生活交通としての西大寺からの宝伝線が、平日も一日4往復あることだった。犬島の精錬所美術館は不便なところにあるが、それでもJR赤穂線から西大寺駅で乗り継げば、のんびり走っても十分にアクセス出来た。

■宝伝線は両備バスが3年前に廃止を表明し、のちに取り下げた路線の一つ。コロナ下で大減収の全国の電車バスはいよいよ「交通崩壊」しはじめ、事業者は「チャリンチャリン」とコインをバラマキながら走っているようなもの。社会に必要な公共交通ならば、キチンと自治体が支えなければ、高校生や通勤客・観光客の足は奪われ、デマンドタクシーでは埋めることは出来ない。今回牛窓線北廻りの西大寺駅・邑久駅間、国際ホテルのある操南台線、及び旭川荘線も廃止協議に入る。操南台などはバスルート沿いに住宅が建ち並び、高齢化した地域住民は唯一の生活の足を失う。

■2002年頃からの規制緩和では、廃止届けは半年前までとなっており、実際は市や地元連合町内会と協議する。地元や市が認めれば、運輸局が廃止を認める。バス会社は廃止を堂々と宣伝するわけではなく、進学希望の高校へのバスが、半年前に無くなったりする。まして減便などは10日前にバス停に掲示されるだけ。来春は全国数十万人の高校生がバスの足を失うだろう。現行制度では、公共交通は民営が前提で、赤字なら廃止出来る。自治体にはまだサービス水準維持のスキームは十分にはない。

■さて2010年以來の瀬戸内国際芸術祭では、RACDAは毎回「備讃瀬戸アクセスマップ」というマップと時刻表を提供してきた。今回廃止の意向が示された宝伝線を是が非でも存続させたいと思う。日本のインバウンドのモデルとなった瀬戸内国際芸術祭、その最大の財産は瀬



赤線は廃止表明路線

戸内海の美しい景観である。コロナ下で注目されたテレワークなら、パソコン一台もって、牛窓や犬島に滞在して、自然を満喫しながら仕事をする事が出来る。それが移住定住に繋がる。犬島は、瀬戸芸では4万人ほどが訪れるが、前回の瀬戸芸では京橋からの直行船が運行され、牛窓の前島フェリーが運航した。京橋、犬島、牛窓が60年の空白を経て、結ばれたのだが。

■昨年11月犬島の光ファイバー整備が岡山市補正予算に組まれた。市長の記者会見の説明。「犬島への情報通信基盤整備として、光ファイバー基盤整備を行うための債務負担行為を令和2年度から令和3年度の期間で設定したいと思います。現在の見込みでは、総事業費が3億5,000万円かかります。今回、公益財団法人福武財団から犬島の振興のために、大きな支援の申し出をいただきました。それにより、事業主体であるNTT西日本株式会社は、今回で最後とされている国の補助を見込み、1億400万円を負担、残る2億4,600万円について、岡山市と福武財団が半分、1億2,300万円ずつ負担する形で実施することとなりました。」

「この事業により、民間事業者による整備が見込めない市内最後のエリアである犬島に超高速ネット環境が整うこととなります。犬島少年自然の家などの市有施設へのWi-Fi環境の整備により、島民や観光客の利便性向上に活用できるだけでなく、将来の遠隔医療等の可能性につながるものと考えております。」併せて、コロナ禍で変わりつつある働き方や暮らし方にも対応しやすくなることや、令和4年度に開催される瀬戸内国際芸術祭での活用、さらに民間による新たな活用も期待されているところであり、島の魅力をより高め、交流人口の増加や活性化につなげたいと思います。」

■Wi-Fiが快適に使えるようになるけれど、バスでは犬島に行けなくなるなんて。コロナでバスも大変だが、美術館も大変だ。宝伝線の赤字は昨年650万円ほど。もはやバス会社はコロナ下で黒字の路線は無くなり、損失補填が出来ない。交通崩壊は地域崩壊である。地元はもちろん、我々まちづくり団体も、本格的に立ち上がらなければならない。市長選の大きなテーマは「コンパクト&ネットワーク」の是非、自動車に依存しすぎた社会を、電車バス路線を中心に組み変えて、災害にも強いまちづくりを目指すかどうか。路線バス崩壊でネットワークが色あせる事になる。

■RACDAは「牛窓・犬島応援隊」を結成して、岡山市東区と瀬戸内市の公共交通ネットワークを守り、未来の絵を描きたい。

犬島精錬所美術館→

電車バスを使えば

スマホが見れる、寝れる、ぼーっと出来る
酒が飲める、回遊できる



NPO 法人公共の交通ラクダ(RACDA)

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内 1-1-15 禁酒会館 3F TEL&FAX 086-232-5502

E-mail: info@racda-okayama.org

URL: http://www.racda-okayama.org

RACDA

検索

